

## 令和8年度 公益社団法人 茨城県作業療法士会 代議員総会議事録

1. 開催日時 令和8年6月14日（日） 10時45分～12時30分
2. 開催場所 茨城県立医療大学大講義室（茨城県阿見町阿見 4669-2）
3. 代議員数及び出席代議員数
  - (1) 当法人の代議員数 52名
  - (2) 議決権のある代議員総数 52名
  - (3) 総代議員の議決権の数 52個
  - (4) 出席した代議員数 50名  
(委任状提出者9名、議決権行使書提出者6名による参加者を含む)
  - (5) 出席代議員の議決権の総数 50個
4. 出席役員等  
出席理事  
大場 耕一（代表理事）、寺門 貴、小森 裕一、山倉 敏之、笥 智裕、細田 忠博、  
大内 康雄、松本 純一、荒井 裕久、廣瀬 友紀、磯 智和、田口 智規、木口 尚人、唯根 弘、  
柘植 哲洋、田口 功隼、山浦 詩織、浅野 祐一、栗原 沙季、島田 昂平、  
藤田 夕子、田中 亮、岩本 記一、小山 貴士、稲葉 篤志、平田 清次  
委員長  
植田 千春、夏加 孝明、深谷 雅博、濱田 剛利  
出席監事  
荒木 雅江、西 マナミ  
書記  
藤田 夕子（温泉リハビリセンター虹の丘）、田中 亮（取手市立こども発達センター）  
議事録の作成に係る職務を行った理事  
松本 純一（総務部長）
5. 議長団選出
  - (1) 議長に、釜田 基夫氏（神立病院）が推薦され満場一致で選出された。
  - (2) 議長より、議事録署名人に濱田 剛利氏（土浦厚生病院）、  
渡邊 基子氏（アール医療専門職大学）の2名が推薦され満場一致にて選任された。
6. 議事の経過の要領及びその結果  
定刻に、定款第20条の規定により出席した代議員より釜田 基夫氏が選ばれて議長となり、定款第22条の規定を満たし本代議員総会は適法に成立したので開会する旨を宣し、直ちに下記議案を付議した。

### 【議案】

1. 第1号議案 令和7年度（2025年度）事業報告の件 → 満場異議無く承認可決
  - 1) 主要目標（会長：大場 耕一）
    - ・ 学術集会の開催：第17回茨城県作業療法学会をテーマ「こころとからだ、生活機能の探究～自分らしく生きるをすべての人へ～」のもと令和7年11月23日に開催。基調講演（茨城県立医療大学 井出政行先生）、市民公開講座（山口達也氏）を実施し、参加者は過去最多の460名に達した。
    - ・ 研修会の推進：対面型を中心としつつ、参加者の利便性を考慮したハイブリッド型研修を実践。受講者の声を積極的に反映した内容で実施した。
    - ・ 茨城型地域包括ケアシステム構築・地域力の強化：医療圏・市町村単位での連携構築・強化を図りながら後方支援を継続した。
    - ・ 公益社団法人としての組織力強化：「県士会＝協会」に向けたビジョンへの積極的な協力体制を

推進。県庁担当者からの情報を他県士会とも共有した。

- ・行政連携型事業の強化：認知症施策、がんリハ、障害と自動車運転、精神保健、発達障害等の各領域で前進。「5歳児健診への参画依頼」「学校作業療法士としての参画要請」があり、重点事項として強化を図ることとした。
- ・広報・啓発に向けた基盤整備：ホームページ・LINE・Instagramを活用した情報発信を強化。若い世代会員への広報基盤を整備した。
- ・災害支援への組織力強化：茨城 JRAT との連携強化、平時の研修・広報活動支援を積極的に実施。県庁等との連携により積極的な参画が可能な体制となった。
- ・女性会員の事業参画促進：学術集会・研修会での託児室併設を進め、子育て世代会員の参加を促進した。

## 2) 事務局（事務局長：小森 裕一）

- ・正会員数：1,095名（内休会者12名） 令和8年3月31日現在。令和7年度入会52名、退会52名。
- ・総務部：代議員総会（令和7年6月8日）、監事会（令和7年4月29日）、理事会7回、常任理事会3回を実施。
- ・法人対策部：各種規程の整理・見直し、茨城県立ち入り検査対応（令和7年11月19日）健全運営が行われていると指摘なし、代議員選挙実施（令和8年2月1日～21日）。
- ・庶務部：会員管理、関係団体名簿管理、議案書・学術誌の印刷・送付、関係会議等への参加を計画通り実施。関係回答への参加については、議案書をご確認ください。
- ・財務部：月次収支管理、税理士法人 IBC 事務所との連携、予算編成を実施。
- ・厚生部：慶弔管理13件（関係団体式典10件・就任3件）、保険関連4件（年間契約）、創立40周年記念事業の取りまとめ。40周年記念講演・式典：令和7年10月19日（日）ホテルレイクビュー水戸 参加64名。祝賀会：同日 参加81名。40年の歴史を持つ団体となった。来賓からの期待の声をいただいた。

## 3) 教育・学術局（教育・学術局長：笈 智裕）

- ・総会時研修：令和7年6月8日、茨城県立医療大学にてハイブリッド開催、83名参加。
- ・基礎教育部（木口部長）：第1回現職者共通研修（令和7年8月31日、オンライン）4講座延べ45名、第2回（令和7年12月20日）4講座延べ16名を実施。
- ・専門教育部（唯根部長）：第1回現職者選択研修（身体障害領域、令和7年9月28日）4講座延べ93名、第2回（精神障害領域、令和7年12月7日）4講座延べ24名を実施。
- ・MTDLP推進部（山浦部長）：基礎研修2回（計27名）、事例検討会1回（5名）を開催。
- ・養成教育部（田口功隼部長）：茨城県臨床実習指導者研修会（令和8年1月24日～25日、オンライン）71名参加。
- ・実践教育部（柘植部長）：中堅者研修会（令和8年3月20日、つくばセントラル病院、対面）17名参加。
- ・学会部（浅野部長）：第17回茨城県作業療法学会（令和7年11月23日、茨城県立医療大学）参加者460名（会員140名、新人14名、一般・学生70名、市民公開講座132名）、オンデマンド配信36件。
- ・共催・後援研修会：計36回、参加者587名（前年比103.5%）。
- ・機関誌21号（2025. Vol. 21）を発刊、医学中央雑誌への継続収載を依頼。
- ・オンラインでの研修会運営は、日本作業療法士協会と協議を重ね、双方向性が担保された場合に限りオンラインでの研修会の運営を認められている。

## 4) 地域貢献局（地域貢献局長：細田 忠博）

- ・作業療法フェスタ運営部（栗原部長）：主に作業療法に関して啓発普及を目的とした部。水戸まちなかフェスティバル、まつりつくば、「介護の日」パネル展示、TSUKUBA 福祉機器展、土浦三中部地区公民館文化祭でブース出展。
- ・市民公開講座（六倉部長）：一般市民を対象として行われる部。令和8年3月21日開催「全世代に共通するメンタルヘルスケアの在り方」参加者27名。

- ・制度対策部（島田部長）：保険情報相談窓口・福祉用具相談支援システム運営（実際の福祉用具に関して事例が記載されているシステム）。生活行為工夫情報事業、いばらき e スポーツへの参加。
  - ・イキイキ地域づくり事業部（藤田部長）：市町村との関わり、地域で活動する作業療法士の横のつながりを作る部。産業保健に関する事業を行う。市町村担当 OT 向け研修会開催（令和 8 年 3 月 19 日）。地域保健総合推進事業としてメンタルヘルス出前講座 3 回（各 13 名）実施。
  - ・コミュニティ・ディレクター統括部：9 医療圏にて交流会・研修会・ユーザー支援事業を実施（一部中止あり）。令和 8 年度コミュニティ・ディレクターへ向けてのアンケート実施。医療圏活動のあり方、継続性、持続性について意見のとりまとめ、令和 9 年度以降へ反映していく。
- 5) 広報局（広報局長：山倉 敏之）
- ・啓発部（岩本部長）：茨城県リハビリテーション専門職協会との共催で高校生向け普及啓発事業（7～8 月）を実施（見学会）、高校生 438 名参加。養成校での士会入会説明会を開催。
  - ・広報編集部（稲葉部長）：定期メールマガジン 4 回、不定期 46 回配信。広報誌「OT いばらき」を関連団体 321 団体へ送付。
  - ・宣伝部（小山部長）：ホームページ管理・更新、公式 LINE・Instagram 運用。学会広報等を継続実施。
- 6) 災害対策委員会（委員長：寺門 貴）
- ・茨城災害リハビリテーション支援協議会（茨城 JRAT）の事務局として参画。
  - ・茨城 JRAT 理事会（2 回）、協会士会-協会災害情報交換会、JIMTEF ベーシックコース受講（2 名）に参加。
  - ・令和 7 年 9 月 18 日の大雨・突風被害状況確認（回答 51 件）を実施。
- 7) 運転・移動支援作業療法委員会（委員長：夏加 孝明）
- ・高次脳機能障害者の実車評価普及事業を継続。十数件実車評価実施。茨城県作業療法学会 SIG 分科会にて千葉リハセンターの安森先生を講師としてお招きし、実写評価の先進県での取組や実車評価の方法について動画等を交えて講義実施。（令和 7 年 11 月 23 日）カフェ（令和 8 年 2 月 15 日、大子町）で講義・実施。参加者はご家族含め 10 名程度。
  - ・隔月定例会議にて情報共有。高次脳機能障害者支援センター主催研究会に参加。
- 8) 認知症支援推進委員会（委員長：大津 匡史 代読：細田 忠博）
- ・認知症 AR/VR 体験会を年間 10 回出張開催（自治体からの依頼、高校、行政イベント、福祉施設等）。
  - ・認知症のひとと家族の会茨城県支部の賛助会員を継続、認知症フォーラム（令和 7 年 12 月 6 日）に参加。
  - ・協会主催担当者意見交換会（令和 8 年 1 月 31 日）に出席。学会 SIG 分科会にて運転・移動支援委員会と共同トークセッションを開催。
- 9) 精神障害領域対策委員会（委員長：濱田 剛利）
- ・リモート研修会（令和 8 年 2 月 22 日、Zoom）を開催。テーマ「地域で働く作業療法士の現状を知ろう」。22 名参加（OT19 名・学生 3 名）。
  - ・医療から福祉も含めた精神障害者に関わる作業療法士の横のつながり強化を図る。
  - ・精神障害領域 OT へのメールアドレス登録確認・啓発、未加入者への入会促進を継続。
- 10) がんの作業療法対策委員会（委員長：唯根 弘）
- ・第 17 回茨城県作業療法学会の委員会分科会にて市民公開セミナーを開催（令和 7 年 11 月 23 日）。テーマ「その人らしい生活を支えるがんの作業療法」。参加 61 名。詳細は起案書をご確認ください。

11) 子ども委員会（委員長：深谷 雅博）

- ・子どもに関わる OT 向け研修会（参加 8 名）、特別支援学校等 OT 座談会（参加 12 名）を開催。
- ・第 17 回茨城県作業療法学会分科会にて活動報告（参加 20 名）。

12) 選挙管理委員会（委員長：植田 千春）

- ・令和 7 年 3 月に役員改選告示を実施。令和 7 年 6 月 8 日の代議員総会にて理事 27 名・監事 2 名を選任。
- ・令和 8 年 1 月に代議員選挙告示、2 月 1 日～21 日に立候補受付。立候補者が定数内のため無投票にて代議員を確定し、3 月に結果告示。

13) 倫理委員会（委員長：唯根 弘）

- ・令和 7 年 9 月 20 日、協会主催の士会・協会倫理連携担当者情報交換会に参加。協会から「士会・協会倫理連携窓口設置」の依頼が予告され、関係規定・運営体制の見直しを図ることとした。

14) 表彰委員会（委員長：大場 耕一）

- ・40 周年事業において功労表彰者 2 名を選定。県知事表彰 1 名、保健医療部長表彰 3 名への推薦を実施。県内 2 養成校卒業式にて各 1 名を会長表彰。

15) 政策提言委員会（委員長：中村 茂美 代読：松本 純一）

- ・いばらき自民党県連政務調査会、茨城県障害者施策推進協議会・障害者差別解消支援協議会への出席。

<質疑応答>

（アール医療専門職大学渡邊氏）事務局報告、退会者 52 名の退会理由を共有できるとか、数字的に統計しているものがあれば教えて頂きたい。

（小森理事）数字的、統計的には出していない。退会傾向・印象として県外への移動、休会は出産育児が多い。今後データ化してお伝えする場を作っていきたい。

（アール医療専門職大学渡邊氏）退会予防、再入会とか何か対策をご検討いただきたい。

**採決：第 1 号議案について満場一致の賛成で承認された。**

**2. 第 2 号議案 令和 7 年度（2025 年度）収支決算書・監事意見書報告の件（財務部：廣瀬 友紀）**

**→満場異議無く承認可決**

1) 貸借対照表について

(1) 資産の部

- ・流動資産合計は¥3,433,544 であり、前年度に比して¥60,604 減額となった。
- ・固定資産合計は¥1,048,197 であり、前年度に比して¥198,146 減額となった。
- ・内訳：有形固定資産（VR コンテンツ機材 1 円・事務局 PC¥109,854）、無形固定資産（VR 動画¥898,342）。
- ・資産合計は¥4,481,741 となり、前年度に比して¥258,750 の減額となった。

(2) 負債の部

- ・負債合計は¥215,261 であり、前年度に比して¥136,314 増額となった。

(3) 正味財産の部

- ・正味財産合計は¥4,266,480 であり、前年度に比して¥395,064 減額となった。

## 2) 正味財産増減計算書について

### (1) 経常収益

- ・受取会費・入会金は¥9,451,980であり、前年度より¥37,175増収となった。
- ・研修収入は¥719,500であり、前年度に比して¥258,535減収となった。
- ・経常収益計は¥10,363,964であり、前年度より¥428,842減収となった。

### (2) 経常費用

- ・経常費用計は¥11,058,502であった（前年度比+905,903円）。
- ・当期経常増減額は△¥694,538。経常外収益（雑収入・受取利息）¥299,474を加算し、当期一般正味財産増減額は△¥395,064となった。
- ・公益認定基準（収支相償・遊休財産額・公益目的事業費率・会費充当割合）はすべて達成している。

## 3) 財産目録について（令和8年3月31日現在）

- ・現金預金：¥3,433,544（現金¥63,068、常陽銀行普通預金¥3,370,476）。
- ・公益目的事業用資産：定期預金¥10,000。有形固定資産：VR機材¥1・PC¥109,854。無形固定資産：VR動画¥898,342。

## 4) 監事意見書（監事：荒木 雅江）

令和8年4月29日に監査を行ったので報告する。

- I 私達は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの会計年度の本会の財務諸表、すなわち、財産目録、収支計算書、貸借対照表を監査し、それを基礎として、本会の財務及び理事の業務執行の状況を監査いたしました。
- II 財務諸表の監査にあたっては、私たちが必要と認めた監査手続きを実施いたしました。
- III 監査の結果、私達は、上記財務諸表が適正に作成されており、本会の令和8年3月31日現在の財政状態及び同日を以て終了する会計年度の収支状況を適正に表示しているものと認めます。また、本会の財務と理事の業務執行の状況は、共に良好且つ適性であると認めます。上記の通り、監事の意見を報告いたします。

**採決：第2号議案について満場一致の賛成で承認された。**

## 3. 第3号議案 令和8年度（2026年度）事業計画（案）の件

→ 満場異議無く承認可決

### 1) 主要目標（会長：大場 耕一）

- ・事業報告に関しては、議案書をご確認頂きたい。5月から国や協会内での動きをお伝えし、事業報告の代わりとさせていただく。
- ・重要事項①リハビリテーション統括調整室新設（5月13日厚生労働省）地方の団体として上申依頼を円滑に、縦割り行政から横断的行政への転換、求められる役割、期待するところ。予防医療に対して積極的対応に期待、法律の改正、リハビリテーション政策の弊害、国民の健康増進に対してリハビリテーションへの期待が含まれる。今後具体的な流れが出てくる。また、士会を通じて士会員の声が国に届く流れに期待していただいて、ご意見をいただきたい。
- ・重要事項②協会の代議員にクォーター制度が採用される。性別の縛りなく均等に理事を配置する動きが立ち上がっている。概ね特定の属性が30%以上占めること。県内は5名枠あり、現在5名すべて男性。今年度中に2名以上、理想的には2～3名女性会員を立ち上げる必要がある。士会女性理事に限らず、是非ともご賛同ご協力ご認識頂きたい。
- ・重要事項③5歳児健診に作業療法士、言語聴覚士がしっかり参画していく。早期に発達の障害を判断、評価する。もしくは保護者の方に受容頂くことで就学した時に発達障害をお持ちのお子さんが何の支援も受けられずに通常学級で在籍し、問題を呈することを払拭したい目的、ねらいが

ある。発達障害に特化した専門職だけでは賄いきれないことも想定され、一般身障や高齢、精神科野の方にも研修会へ総動員するご認識頂きたい。

- ・そのほかのトピックは、「専門職の保育士みなし特例」（子ども家庭庁）年長まで保育の環境で集団の活動、幼児教育を推進したい。どんなお子さんでも就園できる体制を整える流れ、トピックになっている。障害児保育の充実を図るために専門職の活用が打ち出される。各幼稚園保育園から士会へ依頼、募集の候補の可能性も予測される。作業療法士が国や県に対して非常に重要な職位、役所で職務であることを再度ご認識いただきたい。

上記内容を重点的にしっかりと進めてまいりますので、ご協力、ご認識の程よろしく申し上げます。様々な事業を協会、士会一丸となってオールジャパンで進めて参ります。

## 2) 事務局（事務局長：小森 裕一）

- ・総務部：総会（令和8年6月14日）、監事会（令和8年4月29日）、理事会3回（第1回4月29日・第2回6月14日・第3回3月上旬）、常任理事会4回（7・9・11月・1月）を予定。
- ・法人対策部：公益法人インフォメーションへの申請、登記変更対応、各種規程整備を行う。
- ・庶務部・財務部・厚生部：例年通りの事業を推進。

## 3) 教育・学術局（教育・学術局長：笥 智裕）

- ・総会時研修：「茨城県作業療法士会 今後の展望」（大場会長）および「生涯教育制度の概要」（笥局長）を2026年6月に開催予定。
- ・基礎教育部：現職者共通研修を年2回（8月・12月）オンラインで開催予定。
- ・専門教育部：現職者選択研修を年2回（老年期障害9月、発達障害12月）開催予定。
- ・MTDLP推進部：基礎研修2回（7月・現地）、事例検討会1回（3月）、導入研修1回（12月）を開催予定。MTDLP研修及び事例検討会は対面開催予定。内容はグループワーク中心。
- ・実践教育部：中堅者研修会を2027年1月（対面）に開催予定。
- ・養成教育部：臨床実習指導者講習会を2027年1月23.24日（オンライン）に開催予定。
- ・学会部：第10回北関東信越ブロック学会・第18回茨城県作業療法学会（学会長：渡邊基子、実行委員長：濱田剛利）を2026年12月5～6日に現地開催予定。
- ・機関誌22号（2026. Vol.22）を2026年11月発刊予定。
- ・現職者共通研修について、日本作業療法士協会の生涯教育制度（旧制度）の終了に伴い、本年度までの開催。次年度は生涯学習制度に則った開催を検討。開催方法は日本作業療法士協会と協議中。2024年度までの入会者は本年中の受講をお薦めします。
- ・年間予定は、当士会ホームページ上に掲載、ご参照ください。

## 4) 地域貢献局（地域貢献局長：細田 忠博）

- ・作業療法フェスタ：水戸まちなかフェスティバル（5月）、土浦三中・TSUKUBA福祉機器展・OT in 茨城ロボット（11～12月）等に出展予定。
- ・市民公開講座：2027年3月開催予定（テーマ未定）。
- ・制度対策部：保険情報相談窓口・福祉用具相談支援システム運営、令和8年度診療報酬改定研修会開催、eスポーツ参加。
- ・イキイキ地域づくり事業部：市町村担当者連携会議（2月、オンライン）、地域で活動するOT意見交換会（6・10月）、地域保健総合推進事業（メンタルヘルス出前講座全6回）を実施予定。産業保健分野の事業、産業保健総合支援センターへのメンタルヘルス出前講座の委託事業化を見据え展開予定。
- ・コミュニティ・ディレクター統括部：9医療圏にて各種交流会・研修会・ユーザー支援事業を計画。公益事業として重要で大半を占める事業となるので、ご協力ご理解ご認識をいただきたい。

5) 広報局（広報局長：山倉 敏之）

- ・啓発部：高校生向け進路説明会・出前講座・学会ガイド事業、養成校での士会入会説明事業を実施予定。
- ・広報編集部：メールマガジン年4回定期配信、不定期配信、広報誌「OT いばらき」発行。
- ・宣伝部：ホームページ・公式LINE・Instagramの管理・運用。
- ・協会との広報担当ネットワーク構築、強化を推進。メタバースを使った広報活動。協会掲示板が県単位で情報発信できる掲示板が作られた。使い方の検討、準備を進めていく。

6) 各委員会（事業計画案のとおり実施予定）

- ・災害対策委員会（寺門委員長）：茨城 JRAT との連携、平時研修・広報活動支援を継続。人材育成。
- ・運転・移動支援作業療法委員会（夏加委員長）：実車評価普及、移動支援活動、定例会議（隔月）を継続。高次脳機能障害支援センターとの情報交換、実車評価の定着とさらなる環境整備へ。
- ・認知症支援推進委員会（大津委員長）：AR/VR 体験会出張開催、関連団体支援・協力を継続。VR 収益事業を開始予定。（外部関係機関から貸出ニーズがあったため）
- ・精神障害領域対策委員会（濱田委員長）：研修会・交流会開催、連絡体制整備、未加入者啓発を継続。県立医療大の元教員（水野先生、佐々木先生）に関わって頂き、県外異動後も継続して委員継続していただいている。
- ・がんの作業療法対策委員会（唯根委員長）：がんの作業療法をテーマとした啓発活動を実施予定。
- ・子ども委員会（深谷委員長）：5歳児健診・学校訪問派遣体制システム構築、人材育成、OT 研修会・座談会開催、メールマガジン運用開始予定。7月から石岡市教育委員会からの依頼で学校訪問開始予定。組織体制の強化として、組織内容の役割の明確化、協会との情報共有を実施予定。
- ・選挙管理委員会（植田委員長）：新代議員での総会開催完了のため、本年度の選挙管理業務は完了。

採決：第3号議案について満場一致の賛成で承認された。

4. 第4号議案 令和8年度（2026年度）収支予算（案）の件（財務部：廣瀬 友紀）

→満場異議無く承認可決

1) 収支予算書について

(1) 経常収益

- ・令和8年度年会費は引き続き¥8,000（新入会者は入会金含む）に設定。経常収益計は¥11,118,500の見込み（前年度予算比＋¥245,500）。
- ・研修収入¥1,365,000、広告料収入¥210,000、VR収益事業¥331,500等を計上。

(2) 経常費用

- ・事業費を中心に経常費用計は¥11,506,325の見込み（前年度予算比＋¥1,161,662）。
- ・謝金増額（¥1,830,167）、会場費の計上、給与手当・役員報酬等を見込む。

(3) 公益認定基準数値

- ・本計画の遂行により、①収支相償、②遊休財産額、③公益目的事業費率、④会費充当割合のいずれも基準数値を満たす見込みとなる。

採決：第 4 号議案について満場一致の賛成で承認された。

5. 第 5 号議案 定款・定款施行細則の変更の件（法人対策部：荒井 裕久）

→3 分の 2 以上の賛成多数により承認可決

- ・ 現行「理事のうち 1 名を会長、2 名を副会長、8 名以内を常任理事とする」を「理事のうち 1 名を会長、3 名以内を副会長、4 名以内を専務理事、8 名以内を常任理事とする」に変更。
- ・ 専務理事の業務権限について定款・定款施行細則へ追記。
- ・ 役員報酬規程に専務理事区分を追記。専務理事の報酬は 4,000～12,000 円（会長と副会長の間）とする。

採決：第 5 号議案について 3 分の 2 以上の賛成多数により承認された。

【その他：報告・案内】

1. 新規入会方法手続きについて（事務局長：小森 裕一）
  - ・ 入会申込書は当法人 HP を参照。
  - ・ 日本作業療法士協会と茨城県作業療法士会の申込は各々独立しているため注意喚起を依頼。
  - ・ 今年度入会者は入会金 ¥10,000・年会費 ¥8,000。i-net の口座引き落とし申し込みを推奨。
2. 第 18 回茨城県作業療法学会について（学会部：浅野 祐一）
  - ・ 第 10 回北関東信越ブロック学会と合同開催。
  - ・ 開催日：2026 年 12 月 5 日（土）・6 日（日）予定。
  - ・ 学会長：渡邊 基子（アール医療専門職大学）、実行委員長：濱田 剛利（土浦厚生病院）。
  - ・ プログラム詳細は決まり次第県士会 HP へ掲載。
3. 認知症 VR コンテンツの収益事業化について（広報局：山倉 敏之）
  - ・ 認知症 AR/VR コンテンツの収益事業化に向けた取り組みを進めている旨を報告。
  - ・ 来年度以降の事業展開に向けて引き続き準備を進める。

以上